

平成26年9月12日

各 位

会 社 名 株式会社小僧寿し
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 眞吾
 (JASDAQコード9973)
 問合せ先 取締役管理本部長 片野 裕之
 (電話番号 03-6226-4400)

平成26年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成26年2月14日に公表いたしました平成26年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と、平成26年12月期第2四半期連結累計期間の実績値との差異及び通期業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成26年12月期第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異
 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,577	△143	△148	△156	△8.81
実績 (B)	6,287	△458	△472	△582	△27.50
増減額 (B-A)	△290	△315	△324	△426	
増減率 (%)	△4.4%	△68.7%	△68.6%	△73.1%	
(ご参考) 前期実績 (平成25年12月期第2 四半期累計期間)	7,977	△269	△276	△380	△25.88

2. 平成26年12月期通期連結業績予想の修正

(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,439	74	62	47	2.68
今回予想 (B)	12,562	△681	△704	△847	△33.72
増減額 (B-A)	△1,877	△755	△766	△894	
増減率 (%)	△12.9%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成25年12月期)	15,694	△614	△632	△1,684	△108.80

3. 差異及び修正の理由

平成26年12月期第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、外食産業におきまして、相次ぐ原材料価格の高騰により収益性圧迫の影響が依然として続いており、配送拠点や業者の見直しによるコストダウンに取り組みましたが、その効果が本格的に顕在化するのには第3四半期以降であると見込んでおります。一方で、競合他社の存在や利便性の面で縮小する当社の商圏に対し、持ち帰り寿司店舗への宅配機能を付加し、商圏拡大を進めてまいりましたが、やはりその効果が顕在化されるまでに一定の期間を必要としております。現在までに進行している施策については継続的に取り組み、その効果の最大化を図るものですが、第2四半期連結累計期間の連結業績に与える影響は小さく、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益が予想を下回る数値となりました。

平成26年12月期通期連結業績予想につきましては、第2四半期までの連結業績を反映するとともに、収益体質の改善を目的としたコストの改善や、店舗オペレーションの見直し等、実行段階にあるものの、その効果が実現化するにはまだ時間を要すると思われるため、上記の通りの予想に修正いたします。

以 上